

競技注意事項

1 本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項に準じて行うが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。

2 競技方法について

(1) 履物は運動靴、またはスパイクシューズ(ピンは全種目9mm以内)とし、素足での出場は禁止する。

(2) 招集はG1ゲート(100mスタート付近)で行う。トラック競技は、競技開始時刻20分前、フィールド競技は、競技開始時刻30分前までに招集を完了する。なお、当該選手以外(監督・保護者)の招集所への立ち入りを禁止する。

(3) アスリートビブスは、形状を変えずに胸・背の両方に付けなければならない。

【トラック競技】

(1) スタートの合図はイングリッシュコールとし、クラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とするが、オープン参加として走ることが出来る。

(2) 5・6年100mはタイムレースで予選を行い、記録上位8人で決勝を行う。その他のトラック種目は、タイムレースで決勝を行い、上位8位までの入賞者を決定する。友好100mは順位決定を行わない。

(3) リレー競走における、テイク・オーバー・ゾーンは基準点から進行方向手前20m、先10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。

(4) リレー競走(男女混合)は男女各2名から編成され、走順は自由とする。また、出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。

(5) リレーオーダー用紙は、第1組目の招集完了時刻1時間前までに、招集所・競技者係に提出する。なお、一度提出したら、その後の変更は認められない(変更は大会本部が認めた場合に限り、走順の変更はできない)。合わせて、友好100m出場者の変更を行うことができる。

【コンバインド競技】

(1) 競技は、A:80mハードルと走高跳、B:走幅跳とジャベリックボール投を行い、2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とし、80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。(第1位が同点の場合、本大会申し合わせ事項により全国大会出場者を決定する)各種目の得点は、『小学生コンバインド種目得点表(2022年改訂)』による。

(2) 80mハードルは、高さ約70cm、ハードル数9台、ハードル間7m、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mで行う。

(3) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。バーの上げ方は次の通りとする。

男子	1m00(練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以降 2cmずつ
女子	1m00(練習)	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以降 2cmずつ

なお、試技は自分が申告した高さから開始し(パス出来る)、2回続けて失敗した時点で終了とする。

(4) 走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回ずつの試技を行い、良い記録を得点に換算する。

(5) ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とし、ボール本体を持ち(羽だけは禁止)、オーバーハンドスローで投げる。

(6) スタートまたは試技を行ない、50点以下の記録は、すべて50点とし、参考記録(80mハードルにおけるオープン参加時の記録)、記録無し、失格の場合は、0点とする。また、スタートまたは試技を行なわない場合は棄権とし、0点とする。なお、最初の種目で記録が無い場合も、2種目目に出場できるが、棄権した競技者は出場できない。

3 表彰・上位大会の手続きについて

全種目(友好100mを除く)の8位までを表彰する。入賞者は、結果発表後ただちに表彰者待機場所に集合すること。

4 抗議について

競技中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、チーム(所属)の代表者により結果が正式発表(アナウンス)されてから30分以内(予選は15分以内)に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったとみなされる。

なお、審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金1万円を添えてジュリー(上訴審判員)に上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

5 練習場として、本競技場バックスタンド前直線、場外直線走路を提供する。利用者は、競技場使用の申し合わせ事項に従い、競技準備等の妨げ、他者とのトラブルのないように担当係の指示に従って練習すること。

6 競技場内や練習場では、事故のないように十分注意すること。また、児童の体調管理は、保護者や引率者が行き、出場に際しては無理のないよう配慮すること。

7 健康上の問題が生じた場合は、大会本部に連絡すること。

8 宮城陸協ホームページ掲載の「競技場使用ルールについて」を参照し、個人の責任において感染症対策をすること。また、応援観覧については、メインスタンド席のみを解放、芝スタンド席(競技者待機エリア)への入場を禁止する。